

## 香川県地盤工学研究会 令和3年度 第2回学術講演会

主催：公益社団法人地盤工学会 四国支部香川県地盤工学研究会  
後援：香川大学創造工学部（予定）

【日時】2021年12月17日（金）14：00～17：00

【会場】香川大学創造工学部 3201教室

（林町キャンパス：〒761-0396 香川県高松市林町2217-20）

【参加費】無料

【定員】40名 [対面形式]，G-CPD：3.0ポイント（申請中）

留意点：新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から，事前に体温測定を行い37.5度未満であることをご確認ください。また，会場ではマスク着用，定期的換気の徹底等のご協力をお願いします。

### 【内容】

14：00～15：10（講演60分+質疑10分）

講師：宮地 修一氏（株式会社地研）

題目：地下水流動層の形成要因の解明-地下水の流れから地下水リスク，そして伏在活断層がみえてくる-

概要：通常の地形・水理地質データに地形発達史も考慮した地質工学的解析により，表層の地下水流動層の分布や性状および形成要因を評価することで，土石流が地下水流動層を形成する一要因となること，扇状地河川の瀬切れ（伏流する地下水）が伏在活断層発見の手掛りとなることが判明したことを紹介する。

15：20～17：00（講演90分+質疑10分）

講師：稲垣 秀輝氏（株式会社環境地質）

題目：千年に一度の自然災害多発時代に，訴訟を含む地盤リスクとどう向き合うか

概要：東日本大震災は1000年間隔で起こるような大地震によるもので，平安時代の貞観地震（869年）に類似する。

現在は1000年に1回の自然災害の多発時代に遭遇しているのであって，そのような自覚が必要

である．話す内容は以下の 10 項目を予定している． 千年に一度の自然災害多発時代， 地学は防災学でもある， 自然災害・地盤災害が起こる原因と事例， 自然災害時の住民避難， 自然災害事例と地盤に係わる法令， 自然災害のハード対策とソフト対応， 地盤に係わる裁判， 災害による環境破壊とその保全， 防災と環境保全との共生， 地盤工学技術者の役割と期待

【申込み】 ~ を記入したメールを下記宛先に送信してください．件名は「2021 年第 2 回学術講演会申込」としてください．

参加者の氏名

所属

連絡先（電話番号，E メールアドレス）

会員種別

〆切：12 月 10 日（金）12：00

宛先：kagawajiban@outlook.jp

【アクセス】香川大学創造工学部 林町キャンパス（〒761-0396 香川県高松市林町 2 2 1 7-2 0）

▶ことでん琴平線「伏石駅」下車 ことでんバス「伏石駅サンメッセ線」に乗車 「香川大学創造工学部前」

▶ことでんバス（65）川島線・レインボー通り経由便，「香川大学創造工学部前」下車



図中 講義棟の 2 階です．